

女性リーダー養成講座 実施報告【第3回】

○日時 11月7日(水)13:30～16:30

○場所 香川県庁本館 12階 第1・2会議室

○参加者 39名

講義&ワークショップ「リーダーシップ研修～自分らしいリーダーシップを考える～」

講師：福田 積子 氏(公益財団法人 21世紀職業財団 客員講師)

全体コーディネーター：小野島 恵子 氏(同 事業推進部長)

第3回目は、公益財団法人 21世紀職業財団 客員講師の福田 積子氏をお迎えし、「リーダーシップ研修～自分らしいリーダーシップを考える～」と題し、講義とワークショップを行いました。

まず、女性活躍の阻害要因として挙げられるのが、**アンコンシャス・バイアス**。誰もが潜在的に持ち、育った環境や集団の中で既成概念、固定概念として刻まれていくものです。どのようなものがあるのかグループで話し合い、以下のような意見が出されました。

- ・上司から、性別役割分担についてダイレクトに指示された。
(男性はリーダー、女性は補助的な仕事を行う)
- ・管理職が女性に男性と同じマネジメントをすると、女性からも文句が出る。
(女性なんだから優しくしてほしい！
女性の中にも無意識なバイアスがある)



これらを打ち破り、今後リーダーとして、更なる女性の活躍が求められますが、では、リーダーシップとは何なのでしょう。

もともとの資質、競争に勝って得るものというイメージが根強いですが、講師からは、**リーダーシップの能力は学習できるもの**であり、今日この講座に来ていることもリーダーシップのひとつになると示され、リーダーの役割について以下のようにまとめられました。

- リーダーシップは「誰かが持っている何か優れた資質」ではなく、「誰でも開発できるもの」
- 「業務系」と「対人系」の両方の役割がある
 - 業務系…生産性の向上(目標の明確化、明確な指示や命令など)
 - 対人系…職場の人間関係の維持、良い職場風土の構築(人間関係のストレスを最小限に)
- 部下の成熟度など、状況に応じてリーダーシップのスタイルを変える
(部下の成熟度により、具体的な指示を出す必要がある場合や、権限や責任を委譲する場合がある)
- 「内発的動機付け」と「外発的動機付け」の両方のバランスに留意し、その統合をめざす
 - 内発的動機付け…仕事・働くことそのものへの動機
 - 外発的動機付け…賃金・給与、人間関係、福利厚生など

また、自分にとっての行動規範となる存在(ロールモデル)を見つける、見習いたいところを自らの行動に当てはめていくことも重要とされました。

次に、現代の職場は正社員や契約社員など様々な雇用形態、シニアや障害者、外国人など、様々な人材で構成されていますが、そこで必要とされるのが**コミュニケーション**。

コミュニケーションはリーダーシップの基本ともなります。グループになって傾聴のワークなどを行いながら、コミュニケーションの取り方を学びました。

ポイントについては、以下の2点が示されました。

- 言うべきことが言える
 - 話す≠伝える
 - 相手が理解しやすいように話す、相手が理解できているか確認する。
- 傾聴ができる
 - 周囲に感心を持ち、観察する。タイミングよく自分から声をかける。



次に示されたのはリーダーから部下への**動機づけ**(モチベーション)。

人の能力は様々ですが、能力と動機づけがかけ合わされることで成果が生まれることから、リーダーとして動機づけを行う事は非常に大切であると強調されました。

モチベーションが高まることとして示されたのは、以下の4点です。

- 仕事の最終目標が明確になっている。(何のためにやるのか、最終的な効果)
- 期待を感じる(自分にどのような役割が期待され、力を発揮してほしいのか)
- ある程度の裁量権がある(自分の判断である程度進められる環境)
- やりがいのある仕事(重要な仕事、少し難しい仕事。背伸びをして仕事をする)

昔の基準で考えると、女性に裁量権を与えられ、重要な仕事をさせてもらえる機会は少なかったかもしれません。これからは女性にもどんどん任されるべきであり、女性が自らやらせてほしいと声をあげることも重要になるとされました。



また、職場のメンバーを動機づけるのはリーダーの大切な役割であり、責任でもあります。

動機づけを行うためには、日ごろから親しい人間関係をつくっていること、リーダーがメンバー一人ひとりの力量や性格を理解したうえで、仕事を進めていくことが大切としました。

更に、メンバーに**難しい仕事を与え、達成感を持たせる**ことが成長にもつながるとされました。

最後に、自分なりのリーダーを目指すため、どんなリーダーでいたいのか、理想のリーダー像を考え、グループで話し合っていました。

ここで考えた自分の理想のリーダー像について、そのために必要なこと、具体的に取り組むことについては、次回までにまとめ、発表していただきます。

次回の最終回では、香川県を代表する女性リーダーをお呼びし、ミニトークや参加者との交流を行っていただくとともに、今回宿題となった自分の理想のリーダー像について、参加者に今後の行動計画を発表していただき、講座の総仕上げを行います。

女性リーダー養成講座 実施報告【第4回】

○日時 12月5日(水)13:00～17:00

○場所 香川県庁本館 12階 第1・2会議室

○参加者 36名

1 県内のリーダーとの交流

登壇者:竹内 麗子 氏((有)ライブハウジング専務取締役、
(一社)香川経済同友会特別幹事)

中橋 恵美子 氏(NPO法人わははネット理事長)

馬場 加奈子 氏((株)サンクラッド代表取締役)

真鍋 有紀子 氏(富士建設(株)代表取締役、公益財団法人中津万象園保勝会
評議員、FAAVO 香川地域オーナー)

2 自分たちが目指すリーダー像と行動計画発表

コーディネーター:小野島 恵子 氏(公益財団法人21世紀職業財団 事業推進部長)

アシスタント:荒川 紀子 氏(同 上席主任)

第4回目は2部構成で実施し、第1部は「県内リーダーとの交流」として、香川県を代表する4人のリーダーをお招きしました。皆様からそれぞれ自らのキャリアや、リーダーとしての心がけ等をお話いただき、参加者と意見交換も行いました。

◆竹内 麗子 氏

((有)ライブハウジング専務取締役、(一社)香川経済同友会特別幹事)



竹内氏は、中四国の経済同友会で初の女性代表幹事となり、現在は特別幹事を務めておられます。また、不動産会社の専務取締役、香川県各種女性団体協議会の会長も務められ、県内の女性リーダーの先駆的存在としてご活躍中です。

竹内氏からは、経済同友会の代表幹事となり、男性社会であった経済界に風穴をあけるまでのキャリアの積み重ねをお話いただきました。また、同会の会議で女性を継続的に登用し続けることの重要性を粘り強く訴えたご経験をふまえ、地方から女性が声を上げ続けることが大切であると強調されました。参加者に対しては、今後リーダーとして活躍していくために、今置かれた場所で力を蓄えていってほしいとエールを送られました。

◆中橋 恵美子 氏(NPO法人わははネット理事長)

中橋氏は、子育て支援サークル「NPO法人わははネット」をけん引し、子育て家庭に向けた情報発信、イベントの企画・実施を行っています。

働くうえで中橋氏が重要視しているのは、自分自身のことを振り返り、自分がどうありたいかを見つめ直すこと。また、組織の中で職員が次のステップへ進んでいけるためのシステム構築の必要性をお話しされました。スキルアップをすることは苦しいことではなく自分の自己実現であり、やりたいことに近づくことであると強調され、そういった職場環境をつくることが重要であるとお話しされました。



◆馬場 加奈子 氏((株)サンクラッド代表取締役)



馬場氏は、学生服リユースショップ「さくらや」を経営し、不要になった学生服の買い取りや販売を行い、母親の視点から事業を展開しています。

子育てをする中で、自分自身が最も働きやすい環境として起業の道を選んだこと、制服を購入したり、お下がりをもらったりしなければならない母親たちの負担の軽減のために、現在の事業にたどりついたご経験をお話しされました。事業の運営のほか女性の起業支援塾なども立ち上げ、女性達の思い、やりたいことを形にする活動も行う中で、大切なことは自らが楽しむことであり、それが現在の活動や評価にもつながっていると語られました。

◆真鍋 有紀子 氏

(富士建設(株)代表取締役、公益財団法人中津万象園保勝会 評議員、FAAVO 香川地域オーナー)

真鍋氏は、建設会社の代表取締役をはじめ、公益財団法人の評議員やクラウドファンディングサイトのオーナーなど多彩な顔を持ち、多岐にわたって幅広く活躍されています。

既存企業を背負うリーダーとして、まずは真摯に仕事に取り組むこと、自分の考え方についてしっかりした背骨を持つこと、何もかもできるスーパーマンにならなくてもいいということ、会社の先輩、歴史を尊重することの4つを大切にしているとお話しされました。また、現在の立場になったからこそ、女性ならではなく、自分らしさを大切にしながら仕事に取り組むことが重要であると強調されました。



第1部でのリーダーのお話をふまえ、第2部では自分たちが目指すリーダーについて、5年後の行動計画の発表を行いました。参加者からは、自分を見つめ直し、自分らしく、まず行動することが大事であるという声が多く聞かれました

- 人のために時間を割き、仕事や周りを楽しませる雰囲気をつくりながら、5年後、自分が「カッコいい」と思えるようなリーダーになりたい。自分が頑張っている姿を見てくれている人はいる。真摯に仕事に取り組んでいきたい。
- 目の前の困難から逃げ出さずに、ものごとの決断をすぐにできるようにしたい。部下が目標としてくれるようなリーダーになりたい。とにかく、何にでも積極的に取り組んでいきたい。
- 周りのリーダーの意識改革のために、自らがリーダーとなることが重要であると思った。皆が必要としてくれるリーダーになるために、しっかりした背中を見せることが大切である。
- その時の状況に応じて、自分の軸をしっかりと持つようにしたい。与えられた仕事を断らずにチャレンジしていきたい。もし失敗しても「失敗した」という経験を得ることができる。自分で自分のハードルをつくらないようにしたい。
- 周囲との信頼関係を構築するために、言うべきことはきちんと言うとともに、相手の話の積極的な傾聴を心掛けたい。リーダーはこうあるべきという考えにとらわれずに、自分らしさを大切にしたい。
- 失敗を恐れず、自分に言い訳をしないように頑張りたい。
- 自分のキャリアの整理整頓をして、将来に向けてのビジョンを明確に描きたい。



発表後、すべての講座を受講された35名の参加者に、政策部長から修了証書が授与されました。この講座が、更なる女性活躍のきっかけになればと思います。参加者の皆様、お疲れ様でした。

